



農林中央金庫

NORINCHUKIN



Taskforce on Nature-related  
Financial Disclosures

2022年11月10日

農林中央金庫

## 自然関連財務情報開示タスクフォース

### (TNFD = Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)への参画について

農林中央金庫（以下「当金庫」、代表理事理事長：奥和登、東京都千代田区）は、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD=Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）\*1のタスクフォース・メンバーに当金庫エグゼクティブアドバイザーの秀島弘高が選出されたことをお知らせいたします。

現在、自然資本・生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価する取組みへの関心の高まりに伴い、タスクフォースが開発中のTNFDベータ版フレームワーク\*2の重要性も急速に増えています。本件は、2023年9月に予定されているTNFD提案の最終版フレームワーク（v1.0）に向けたフレームワークにかかる開発をより一層推進するために、タスクフォース・メンバーが追加で募集され、当金庫が選出されたものです。

当金庫は農林水産業にかかる協同組合を基盤とする金融機関であり、自らのビジネスが自然資本・生物多様性に立脚したものであるとの認識のもと、2022年6月にTNFDの趣旨に賛同し、議論をサポートするTNFDフォーラム\*3に参画するなど、自然資本・生物多様性にかかる取組みや検討を進めてまいりました。今後、秀島弘高がTNFDメンバーとして、日本における農林水産業と密接に関連する組織背景と国際的に活動する金融機関としての投融資にかかる経験を活かして、TNFDによるフレームワーク開発に貢献していきます。

当金庫は2021年に、「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をめぐみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパスとして定めました。パーパスの実現に向けて、ネイチャーポジティブ（自然への良い影響）に貢献する金融への取組みを通じて、自然資本と生物多様性の保全に取り組んでまいります。

（ご参考）

#### \*1 TNFD (<https://tnfd.global/>)

2021年6月に正式に発足した、自然関連の財務情報を開示する枠組みの開発・提供を目指す国際イニシアティブです。TNFDはオープンイノベーションアプローチにより、市場参加者によるサポートを通じて開示枠組みの開発を行っています。

#### \*2 TNFD フレームワーク

自然資本・生物多様性にかかるリスクや機会の適切な評価や開示のフレームワークであり、幅広い市場参加者が自然、

および自然関連リスクと機会を理解するための主要な概念と定義を含む基礎的なガイダンス、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）が策定した気候関連ガイダンスのアプローチと文言に沿った情報開示提案、そして企業や金融機関によるリスク管理およびポートフォリオ管理プロセスへの自然関連リスクと機会の組み込みを検討するための実践的ガイダンス等で主に構成されています。内容は順次公開されるベータ版でアップデートされています。

### **\*3 TNFD フォーラム**

TNFD の趣旨に賛同し、議論をサポートすることを目的とした幅広いステークホルダーによって組織されており、国内外から 700 以上の企業・機関・団体等が参加しております。

**【本件にかかるお問い合わせ先】**

（プレスリリース、報道等にかかるお問い合わせ）

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） Tel: 03-6362-7172

（当金庫の対応にかかるお問い合わせ）

農林中央金庫 総合企画部 サステナブル経営室（増岡・安藤） Tel:050-3853-0538/4063